

家庭学習の習慣化

義務教育において、子どもたちの主体的な学びを育て、学び方を身につけさせることは、将来社会人として自立するための基礎となります。

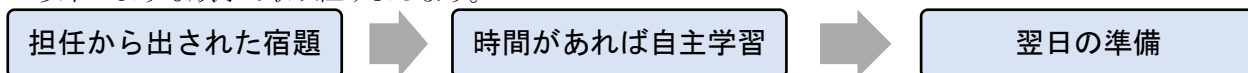
特に、小学校における「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」「計算すること」は、欠くことのできない「大切な基礎学力」です。学校では、これらの基礎学力の向上を図っています。さらに、子どもたちが一番安心して生活できる家庭との連携を図ることで、その効果が高められると考えます。

学習効果を高め、自ら学ぶ習慣を身につけさせるために、家庭学習を習慣化させましょう。

<お家の方へ>

1. 家庭学習の進め方

以下のような順序で取り組みましょう。



※勉強に飽きた、集中力が続かない…と感じたときは、

- ①タイマーを用意して、「〇分で、これだけやってみよう！」などと時間を区切って学習する。
- ②ノートに〇を付けたり、まちがった所を直したり、体を動かしたりする。
- ③宿題が終わっていれば、目安の時間まで、自主学習や読書をする。

というように、まず「自分の学習する場所に、その時間いる」という習慣が子どもに身に付くようにしましょう。

1～3年生の保護者の皆様へ：子どものノートの丸付け等のご協力をお願いします。

4～6学年の保護者の皆様へ：子どもが自力で丸を付けて直しますので、見届けをよろしくをお願いします。

2. 時間の目安

1年…20分～40分程度	2年…30分～50分程度	3年…40分～60分程度
4年…50分～70分程度	5年…60分～80分程度	6年…70分～90分程度



3. お家の方をお願いしたいこと

(1) 時間の確保

- ①短い時間でも、「必ず机に向かうという習慣」が大切です。習慣をつくってください。
- ②「何時から何時まで」「ドリル1つを〇分で」というように、**時間設定**をして行いましょう。

(2) 学ぶための環境づくり

- ①学習する机の周りをすっきりと整えましょう。
- ②テレビなどを消して、**静かに集中できる**ようにしましょう。
- ③**学習するもの**を準備してから始めましょう。
- ④国語辞典、漢字辞典、図鑑など疑問に思ったことを調べることができる**環境**を作りましょう。
- ⑤メディア（ゲームやスマホ、タブレットなど）の時間を子どもと一緒に決めましょう。

(3) 学ぶための意欲づくり

- ①お子さんの学習内容に目を通し、声をかけましょう。
- ②ノートやドリルに〇を付けて、褒めたり励ましたりしましょう。目に見える形でがんばりを認めてもらえるとやる気が湧き、学習が続きます。
- ③**時間の見通し**をもたせましょう。「〇分でドリルをやって、その後△分で、計算カードをやろうね！」などとゴールが見えていると、やる気が湧きます。
- ④どうしても集中できないときは、**気分転換に体を動かしたり**することもよいです。

(4) 学校との連携

分からないこと、困ったこと、がんばっていることなど、どんなことでもよいですので、ぜひ担任にお知らせください。私たちも、お子さんの家庭での学習の様子を知り、宿題の課し方を見直していきたいと思えます。

※学期に1回、家庭学習強化週間を設けます。学校で取組み表を準備します。ご協力をお願いします。

<家庭学習の進め方>

担任から出された宿題は、次のような点を意識して行ってください。

1. 音読

- ・大きな声ではっきりと読む。
- ・背筋を伸ばし、教科書を正しく持って、よい姿勢で読む。
- ・間違えないようにすらすらと読む。できるようなら、暗記にも挑戦しましょう。
- ・「 」や句読点（ 、 や 。 ）に気を付けて、間を大切に読んで読む。
- ・登場人物の気持ちを考えて、読み方を工夫して読む。



2. 漢字ドリル

- ・漢字練習帳（1・2年生：84字、3・4年生：120字、5・6年生：150字）を使いましょう。
- ・一字一字をていねいに正しく書きましょう。
- ・漢字の読み方の学習のページでは、漢字の横に読み仮名を書きましょう。
- ・必ず答え合わせをして、正しい漢字で練習しましょう。
- ・一文を書いた下は、1回目は青い線のある部分をまずいっぱい練習しましょう。2回目は、その漢字を使った熟語を書いたり、自分で文を作ったりしても、漢字の力がより付きます。
- ・新出漢字の欄にある熟語は、国語辞典などで意味を調べると漢字への理解が深まります。

3. 計算ドリル（3年生以上では、「算数の練習」を含む）

- ・問題文や図などは、ノートに書き写しましょう。写すことで、文章の理解や図形の理解につながります。
- ・式や答えだけでなく、途中の考え方や筆算などをノートに残して、消さないようにしましょう。
- ・定規を使って線を引いたり、数字を丁寧に書いたりしましょう。
- ・間違えた問題は、必ずやり直しをしましょう。間違ったままでは、同じ間違いを繰り返します。

4. 自主学习

4年生以上は、自主学习を宿題として出します。自主学习ノートは、どの学年も5mm方眼ノートを使います。次の表は、各学年の内容の例です。参考にしてください。3年生でも自主学习にチャレンジする人は参考にしてください。

全 学 年 共 通	国語 ：習った漢字を使って文章を作る。 教科書や漢字ドリルの言葉の意味を調べる。 教科書の詩や俳句、物語などを丁寧に写す。俳句づくり。 図書室などで本を借りて読み、その感想をまとめたり、紹介文を書いたりする。
	算数 ：教科書の練習問題やドリルの間違えた問題をもう一度解き直してみる。 図形を描く。（コンパスや三角定規の使い方の練習） 自分で問題を作って、解いてみる。
	社会 ：地図記号を覚えたり、地図から読み取れることは何か考えたりする。 都道府県の名前と場所を覚えたり、特産物を調べたりする。 世界の国やその国旗を調べる。
	理科 ：学習したことが、身の回りでどのように使われているか探す。 学習したことを使って、理科のおもちゃづくりをする。 単元の内容を「理科新聞」の形にまとめてみる。 実験の用具の名前や実験の仕方などをまとめる。
	その他 ：テストで間違えた問題をもう一度解き直す。 お手伝い日記（どんなお手伝いを、どのようにしたか、家族の感想などをまとめる） 料理に挑戦（材料、作り方、家族の感想などをまとめる） スケッチや絵画の練習や鑑賞、歌やリコーダーの練習や鑑賞 習字の練習、なわとびの練習



3 年 生	<p>国語：必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる。(教科書「国語辞典のつかい方」より) 同じ「へん」や「つくり」をもつ漢字を集めて書く。(教科書「へんとつくり」より) 俳句や詩を視写したり、作ったりする。(教科書「俳句を楽しもう」、「詩を楽しもう」より) ことわざを探して、意味を調べる。(教科書「ことわざについて調べよう」より) 読書をして、本の紹介文を表す。習った漢字を用いて文作りをする。</p> <p>算数：学習した単元のレッツトライをやる。(教科書「レッツトライ」より) コンパスを使って、円や二等辺三角形などの図形を描く。(教科書「円と球」、「二等辺三角形と正三角形」より) 文章問題づくりをして解く。</p> <p>社会：地図記号の意味や由来を調べて表す。(教科書「学校のまわり」より) 昔の道具や移り変わりを調べる。(教科書「古い道具と昔の暮らし」より)</p> <p>理科：見つけた植物や成長を観察する。(教科書「植物を育てよう」より) 昆虫の体のつくりや成長を調べる。(教科書「チョウを育てよう」より) 電気を通すものや磁石につくものを調べる。(教科書「明かりをつけよう」、「じしゃくにつけよう」より)</p> <p>その他：ローマ字の練習をする。(教科書「コンピュータのローマ字入力」より) テストの問題をやり直す。ふしづくりや楽譜写しをする。(音楽)</p>
4 年 生	<p>国語：同じへんやつくりをもつ漢字集めをする。(教科書「漢字の組み立て」より) 漢字辞典を使って漢字の意味や読み方を調べる。(教科書「漢字辞典の使い方」より) 短歌や俳句、詩を暗記したり、視写したりする。(教科書「短歌・俳句に親しもう」より) テーマを決めて、自分の考えが伝わるように文を書く。(教科書「自分の考えをつたえるには」より) 慣用句の意味調べをしたり、短い文を作ったりする。(教科書「慣用句」より)</p> <p>算数：学習した単元のレッツトライをとく。(教科書より) 式をもとに問題を作ったり、問題を作って自分でといたりする。(教科書「式と計算」より) 垂直や平行な線、台形や平行四辺形を描く練習をする。(教科書「垂直、平行と四角形」より)</p> <p>社会：都道府県調べをしたり、特色をまとめたりする。(教科書「わたしたちの県」より) 興味のある偉人について調べる。</p> <p>理科：季節に見られる植物や動物を観察し、まとめる。(教科書「あたたかくなると」「暑くなると」「けずしくなると」「寒くなると」より) からだの仕組みについて調べて、まとめる。(教科書「動物のからだのつくりと運動」より) 月や星の観察をする。(教科書「夏の星」「月や星の動き」「冬の星」より) 教科書の「たしかめよう」を解いて、復習をする。 理科の広場をまとめる。</p> <p>その他：ローマ字の練習をする。 身の回りの川やごみの様子を調べる。(ヒューマン)</p>
5 年 生	<p>国語：普段の話し言葉を敬語に直す。(教科書「敬語」より) 古典(徒然草や平家物語など)を暗記する。(教科書「古典に親しもう」より) 新聞の切り抜きの感想を書く。(教科書「新聞を読もう」より) 何かを推薦する文章を書く。(教科書「すいせんします」より)</p> <p>算数：身近な立方体の体積を、長さを測って計算する。(教科書「体積」より) いろいろな問題を数直線で表す。(教科書「小数のかけ算」「小数のわり算」などより) 合同な三角形を描く練習をする。(教科書「合同な図形」より)</p> <p>社会：地域の地産地消の農作物を調べる。(教科書「私たちの生活と食料生産」より) 我が家の自動車の選択理由をインタビューする。(教科書「自動車をつくる工業」より) 地図帳や資料集を使って、学習したことをもう一度考える。</p> <p>理科：天気の変化の様子を観察したり、新聞などで調べたりする。(教科書「天気の変化」より) 魚の成長について調べ、メダカと比べる。(教科書「魚のたんじょう」より) 雄花・雌花のある植物には、どのようなものがあるか調べる。(教科書「花から実へ」より)</p> <p>その他：サラダやご飯、味噌汁などを作る。(家庭科) 手縫いで小物を作ったり、ミシンで布製品を作ったりする。(家庭科) アルファベット大文字の練習をする。(英語)</p>

6 年 生	<p>国語：二十四節気について調べる。(教科書「季節の言葉」より)</p> <p>新出漢字の部首やつくりを調べ、同じ部首の漢字や同じつくりの漢字を集める。(教科書「漢字の形と音・意味」より)</p> <p>家族旅行などで訪れた場所のパンフレットを書く。(教科書「町のよさを伝えるパンフレットを作ろう」より)</p> <p>三字や四字の熟語を調べる。(教科書「熟語の成り立ち」より)</p>
	<p>算数：点対称な図形と点対称な図形を描く練習をする。(教科書「対称な図形」より)</p> <p>236ページの円を切り取って、円を8等分、16等分、36等分して、円の面積の求め方をまとめる。(教科書「円の面積」より)</p> <p>時刻表を活用して、電車やバスの平均速度を求める。(教科書「速さ」より)</p> <p>身の回りの物の体積を求める。(教科書「角柱と円柱の体積」より)</p> <p>拡大図や縮図を描く練習をする。(教科書「拡大図と縮図」より)</p>
	<p>社会：興味のある大名の生い立ちや関連のある出来事をまとめる。(教科書「武士の世の中」より)</p> <p>税金の集められ方や使われ方を図や表でまとめる。(教科書「わたしたちの生活と政治」より)</p> <p>地図帳や資料集を使って、都道府県名、都道府県庁所在地、国名を復習する。</p>
	<p>理科：「理科のひろば」に紹介されていることがらについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火の仕組みについて調べる。(教科書「物の燃え方と空気」より) ・人間の内臓について調べる。(教科書「動物のからだのはたらき」より) ・日食や月食について調べる。(教科書「太陽と月の形」より)
	<p>その他：ローマ字、アルファベットの練習をする。国語で学習した表現技法を使って日記を書く。</p>

5. 日記

- ・丁寧な文字で、学習した漢字を正しく使って書きましょう。(漢字が分からないときは国語辞典で調べるとよいです。)
- ・「いつ、どこで、だれが、何を、どうした」をはっきりさせて書きましょう。(主語、述語を正しく使う。)
- ・「初め、中、終わり」の構成で文章を書き、段落を変えましょう。
- ・会話文を入れたり、接続詞(初めに、次に、すると、など)を使ったりして書きましょう。
- ・国語辞典を手元に置いて、分からない漢字を調べながら書くこともおすすめです。
- ・指定された文字数で書きましょう。(多すぎたり、少なすぎたりしない。)
- ・担任からテーマや題を提示するときがあります。その時は、そのテーマや題に沿って書きましょう。
- ・書いたら読み返して、文章を直しましょう。

6. その他

- ・プリントは丁寧な文字で書いて、答え合わせができるものは必ずしましょう。
- ・分からない問題は、いろいろな方法を使って調べてみましょう。



<学習に向かう力は、日々の生活から>

- ①毎日朝食をとる子ほど、学力調査の得点が高い傾向がある。
- ②一食あたりの摂取食品数と成績は比例する傾向がある。
- ③テレビは、1日1時間程度とする。よい番組を観ることが大事。
- ④読書こそ知能を高める。
- ⑤携帯電話やスマホ、ゲーム機を長時間使うと、学校で学んだことが脳の中で消える。
- ⑥7～8時間の睡眠が、学力向上にベスト!
- ⑦お家の人と学校のできごとをよく話す子ほど、学力調査の得点が高い傾向がある。

以上のような傾向が、さまざまな調査から明らかになっています。学習だけでなく、日々の生活からのサポートをご家庭でもよろしくお願ひします。